

欧州：フードロス削減のための食肉への活用

Metro

概要

- ▶ 150のサプライヤーが参画し、約5,000の商品にGS1データマトリックスを表示（90%以上の表示率）。
- ▶ サステナビリティをブランドDNAと認識し、フードロス削減のために導入。
- ▶ 16年より生鮮品を対象としたGS1データマトリックス表示をドイツで開始し、他の国の店舗でも表示を推進中。
- ▶ GS1データマトリックスのデータ：
GTIN、重量、消費期限、ロット番号

ポイント

- ▶ バーコードの読み取りエラーが3分の1に軽減（以前は、シュリンク包装で出来た“しわ”による読み取りエラーが多かった）。
- ▶ レジスキャンのスピード、精度に問題は確認されていない。
- ▶ 消費者へのトレーサビリティPRのために、GS1 Digital Link URI形式のQRコード表示も検討している。

食肉に表示されたGS1データマトリックス



欧州

食肉

- 調査中
- 導入済み
- パイロット

- QRコード
- GS1データマトリックス
- その他

- オープンな環境
- クローズな環境

